

各地区の活動の紹介

子育て支援団体 こども広場モーリーズ

地域の子育てのために役立ちたいと有志が集まり、「こども広場モーリーズ」を立ち上げたのは平成14年。以来22年間、0歳から3歳(未就園児)の親子が集う場として、毎月2回中野地域ケアプラザ多目的ホールで活動しています。当初は年間2000人を超える親子の利用がありましたが、この間、多くの子育て支援の場所ができ、現在は年間750人ほどとなっています。誰でも出入り自由で好きな時間に無料で参加できるというモットーは今も変わりません。利用される方々には、おもちゃで遊ぶ子どもを見守りながら、情報交換や子育ての不安を先輩ママやパパに相談したり、ほっこりとお茶を飲んで日頃の疲れを癒やしながら過ごしてもらっています。



また、いろいろな団体の協力を得て、子育て相談(保育士)・おもちゃ病院(治療費無料)・絵本の読み聞かせ(にんじんクラブ)・ベビーマッサージ(つむぎ)・親子体操・季節の行事・リサイクルショップ等の楽しいイベントも行っています。以前、少年院の職員の方から、非行には子どもの頃の親との関係が大きく影響しているという話を聞きました。子育て中の方々の不安やストレスがモーリーズで解消され、子育てを楽しむ親子の笑顔が増えるとうれしいです。



1/12 どんど焼き みんなの広場たけのこ 青少年指導員協議会

お正月の恒例行事の「どんど焼き(お焚き上げ)」を1月12日(日)子ノ神・日枝神社において開催いたしました。当日は晴天にも恵まれ、参加者は子供・大人を合わせて300名を超え、子供用のお菓子150個もなくなるほど、これまでになく盛況でした。正月飾りや古いお札を焚いた火でお餅を焼いて食べて一年の無病息災を願う昔ながらの行事を懐かしんで、竹竿の先につるしたお餅を焼いて食べて皆さん楽しそうでした。今年も良い年でありますように!! 皆様のご協力に感謝申し上げます。



12/15 マンドリン演奏 中野・富士見ふれあいサロン

地元で長年活動しているアンサンブル・パストラーレの皆さんを迎え、本郷小学校コミュニティハウスで、マンドリンとギターの演奏を鑑賞するひと時を楽しみました。演奏の合間には誰もが口ずさんだことのある演歌、青春歌謡、そしてクリスマスソングをみんなで歌う楽しい企画がありました。また、マンドリンの構造と音色の秘密、ギターとの共演でのそれぞれの役割についても教えていただきました。参加者は年の瀬の忙しさを忘れて、軽い足取りで家路に着きました。



広報分科会：杉浦敏昭 本池弘一 坂本友子 原 栞 荒井文夫
 霜山雅也 清水克彦 中山陽一 末村信子 関戸篤志
 新沼恵美 山田直樹 和田和子
 協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ
 連絡先：中野地域ケアプラザ
 (担当：遠山 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

支えあいネットワーク ホームページ



「本三ネット」で検索
<https://honsan-net.com/>

本郷第三地区支えあいネットワーク広報誌

本三みらい

53



【発行者】
 本郷第三地区
 支えあいネットワーク
 代表 渡邊 すみ江

栄区では、誰もが安心して暮らせるまちの実現にむけて、身近な地域の支えあい・見守りあいの仕組みづくりを進める「第4期 栄区地域福祉保健計画」を令和3年度から実施しています。これを受けて、本郷第三地区支えあいネットワークでは、「顔の見えるまちづくり～お互いの配慮によって支えあおう～」をスローガンに掲げて、組織・団体が連携して活動しています。

地域企業との意見交換会 高齢者等関連分科会

高齢者等関連分科会の重点目標は「高齢者が孤立しない・孤立させない。認知症や障がいのある方も安心して暮らせるまちにしよう」です。2024年は、日頃地域で多くの方と接している企業がどのようにして高齢者を見守っているかを知るために、意見交換会を2回開催しました。1回目は2月13日に、元大橋郵便局と朝日新聞サービスアンカーASA大船東部の方にご出席いただきました。元大橋郵便局からは「通帳やATMカードを紛失したと何回も再発行をしに来る」「高齢者の高額払い出しは断る場合があり、振り込め詐欺の被害を防いだことがある」「耳が遠い方々には、規定の範囲内で必要書類を書くこともある」等のお話がありました。朝日新聞からは「新聞配達途中で、自分がどこにいるのか、どこへ行きたいのか分からなくなっている人に遭遇し、警察に通報して保護してもらった」等のお話を伺いました。



2回目は6月11日に、神奈川中央交通横浜営業所とユーコープ本郷店の方にご出席いただきました。神奈川中央交通では「乗車はしたけれどどこで降りるか分からない」「終点まで乗車し、声を掛けると『ここはどこだ』と言う」等の乗客に対して、親族の連絡先が分かる場合は

連絡をしているそうです。また、荷物を持って降車するときは転倒しないよう、特に注意してほしいそうです。ユーコープ本郷店からは「ポイントカードを何回も再発行しに来る」「同じ商品を3~4パック買い、翌日もまた同じ商品を同じ数買う方を気にはしていても、『買うな』とは言えないもどかしさがある」というお話を伺いました。また「財布に小銭がたくさんあるように見えるので、使うように助言してもお礼を出す」というお話もありました。



2回の意見交換会で、4つの企業が高齢者に対して、それぞれ工夫しながら細やかに対応していることが分かりました。また各企業では現在「オンライン化で窓口対応が減少」「新聞を取る人が減り、新聞受けにたまっている状況からの見守りの機会が減少」「運転手不足による減便」「小型店の客足の減少」など、個別の課題を抱えていることも分かりました。今回出席していただいた企業は、地域になくてはならない大切な資源です。お互いが支えあえるまちづくりを進めていくために、企業の持つ課題を踏まえた上で、地域住民とこれらの企業がつながり、協力していくことが大切です。

2/15

さかえ・つながるフォーラムが開催されました

さかえ・つながるフォーラムは栄区の福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）に基づいた各地域での取り組みや民生委員の活動を紹介するイベントで、2月15日（土）、栄公会堂で行われました。

ステージイベントの第一部では聖徳大学の豊田宗裕教授から基調講演があった後、三つの地区からそれぞれの取り組みについて発表が行われました。

本郷第三地区からは昨年度に行われた「本三支えあいフェスタ2023」について、ネットワークの渡邊すみ



江代表とフェスタ実行副委員長の西村成一郎さんが登壇し、豊田教授の質問に答える形で発表が行われました。

その後、本郷中央地区と笠間地区からも取り組みの発表が行われました。

次に、民生委員・児童委員の活動が紹介され、栄区民生委員児童委員協議会会長の本田桂子さんから民生委員になってよかったことなどのお話がありました。

休憩後、第二部では春日一番太鼓による和太鼓の演奏の後、抽選会があり、当選者にはタッチー君グッズなどの賞品が渡されました。

2階会議室では各地区の取り組みがパネルで展示されました。タッチーくんのオリジナル巾着づくり体験も行われました。また1階のホワイエでは福祉事業所等による物販コーナーも設けられました。



予告 第2回 本三支えあいフェスタ 顔の見えるまちづくりを目指して今年も開催します

スタンプラリー

地域活動の紹介ブースを回って商品をゲットしよう



スーパーボールすくいゲームコーナー



防災コーナー

2階飲食コーナー

タッチーくんも来るよ

カレー・焼きそば
コーヒー・ソフトドリンク



桜井小6年考案の
スイートポテトもあります

AED/心肺蘇生体験
防災カードゲーム
起震車も来るよ



写真は前回のものです

11/26

ボランティア交流会を開催しました ボランティア分科会

本郷第三地区社会福祉協議会から助成を受けている9団体が参加する支えあいネットワークボランティア分科会では、活動の共有や課題解決に向けて意見交換をしています。

2024年11月26日（火）13：00から中野地域ケアプラザにて、ボランティア分科会参加



団体で活動をしている方たちの交流会を開催しました。交流会には20人が参加しました。

サロンではどのような企画（音楽、工作、体操、演芸など）が好まれているのか、地域の方々に参加をどのように呼びかけているか、企画に参加された方に、また参加しようと思ってもらえるにはどうしたらよいかなど、情報や意見の交換を行いました。

日ごろの活動では得にくい新たな発見、活動の意義や成果などの気付きがあり、これからの意欲にもつながりました。

地域に住んでいる方々が緩やかにつながり、顔の見える関係を築きながら、安心して暮らせる安全な地区にしていく一助になればと考え、それぞれが楽しみながら活動しています。各団体では、ボランティア活動に興味のある方の新たなご参加も歓迎しています。

今後は、分科会参加団体以外でボランティア活動をされている方々とも、情報交換をしたいと思います。



開催日 2025年3月20日（木）

時間 10：00～13：00

開催場所 中野地域ケアプラザ

※お車でのご来場はご遠慮ください。（臨時の自転車駐輪スペース有）

主催：本郷第三地区支えあいネットワーク

共催：本郷第三連合町内会・本郷第三地区社会福祉協議会
栄区役所・栄区社会福祉協議会・中野地域ケアプラザ

